

VMware ESXiをバージョン5.5から6.xにアップグレードします。

内容

[概要](#)

[前提条件](#)

[要件](#)

[使用するコンポーネント](#)

[背景説明](#)

[設定](#)

[確認](#)

[トラブルシューティング](#)

概要

このドキュメントでは、CLI (コマンドライン インターフェイス) を使用して、Elastic Sky X Integrated (ESXi) ハイパーバイザをバージョン 5.5 から 6.x にアップグレードする方法について説明します。ESXi は、仮想化においてお客様に支持されているハイパーバイザの一つであり、すべてのユニファイド コミュニケーション インフラストラクチャ、SourceFire、および仮想化環境上で稼働するその他の複数のサーバーを含む複数のプラットフォームに関して、シスコが推奨するハイパーバイザでもあります。

前提条件

要件

次の項目に関する知識があることが推奨されます。

- VMware ESXi ハイパーバイザバージョン 5.5 を搭載する Unified Computing System (UCS)
- VMware ESXi ハイパーバイザで有効になっているドメイン名解決 (DNS) サービス
- ESXi ハイパーバイザへの端末アクセス
- Java 対応のブラウザでの Cisco Integrated Management Controller (CIMC) Web ページへのアクセス

使用するコンポーネント

このドキュメントの情報は、次のソフトウェアとハードウェアのバージョンに基づいています。

- UCS C460
- ESXi ハイパーバイザバージョン 5.5
- Firefox ブラウザ

このドキュメントの情報は、特定のラボ環境にあるデバイスに基づいて作成されました。このドキュメントで使用するすべてのデバイスは、初期 (デフォルト) 設定の状態から起動しています。対象のネットワークが実稼働中である場合には、どのようなコマンドについても、その潜在的

な影響について確実に理解しておく必要があります。

背景説明

VMware 社は、ESXi 5.5 の一般サポート終了およびテクニカルガイダンス終了の期限を発表しました。

ESXi 5.5	.	2013/09/19	2018/09/19	2020/09/19	EP		A, B
----------	---	------------	------------	------------	----	--	------

仮想化インフラストラクチャを ESXi 6.0 および 6.5 にアップグレードすることをお勧めします。

設定

CLI によるアップグレードプロセスは、次のとおりです。

ステップ 1: アップグレードする ESXi サーバーで動作している仮想マシン (VM) をシャットダウンします。

ステップ 2: ESXi サーバーをメンテナンスモードにします。これは、ハイパーバイザが実行する重要なサービスをオフにし、サーバーのアップグレードを可能にするために役立ちます。

図に示すように、vSphere Client を使用できます。

General	
Manufacturer:	Cisco Systems Inc
Model:	UCSC-C460-M4
CPU Cores:	72 CPUs x 2.094 GHz
Processor Type:	Intel(R) Xeon(R) CPU E7-8870 v3 @ 2.10GHz
License:	VMware vSphere 5 Enterprise Plus - Licensed for 4 physic...
Processor Sockets:	4
Cores per Socket:	18
Logical Processors:	144
Hyperthreading:	Active
Number of NICs:	6
State:	Connected
Virtual Machines and Templates:	41
vMotion Enabled:	Yes
VMware EVC Mode:	Disabled 
vSphere HA State	 N/A
Host Configured for FT:	No 
Active Tasks:	
Host Profile:	
Image Profile:	(Updated) ESXi-5.5.0-1746...
Profile Compliance:	 N/A
DirectPath I/O:	Supported 

Commands	
	New Virtual Machine
	New Resource Pool
	Enter Maintenance Mode
	Reboot
	Shutdown

または、CLI を使用します。その場合は、次のコマンドを実行します。

```
vim-cmd /hostsvc/maintenance_mode_enter
```

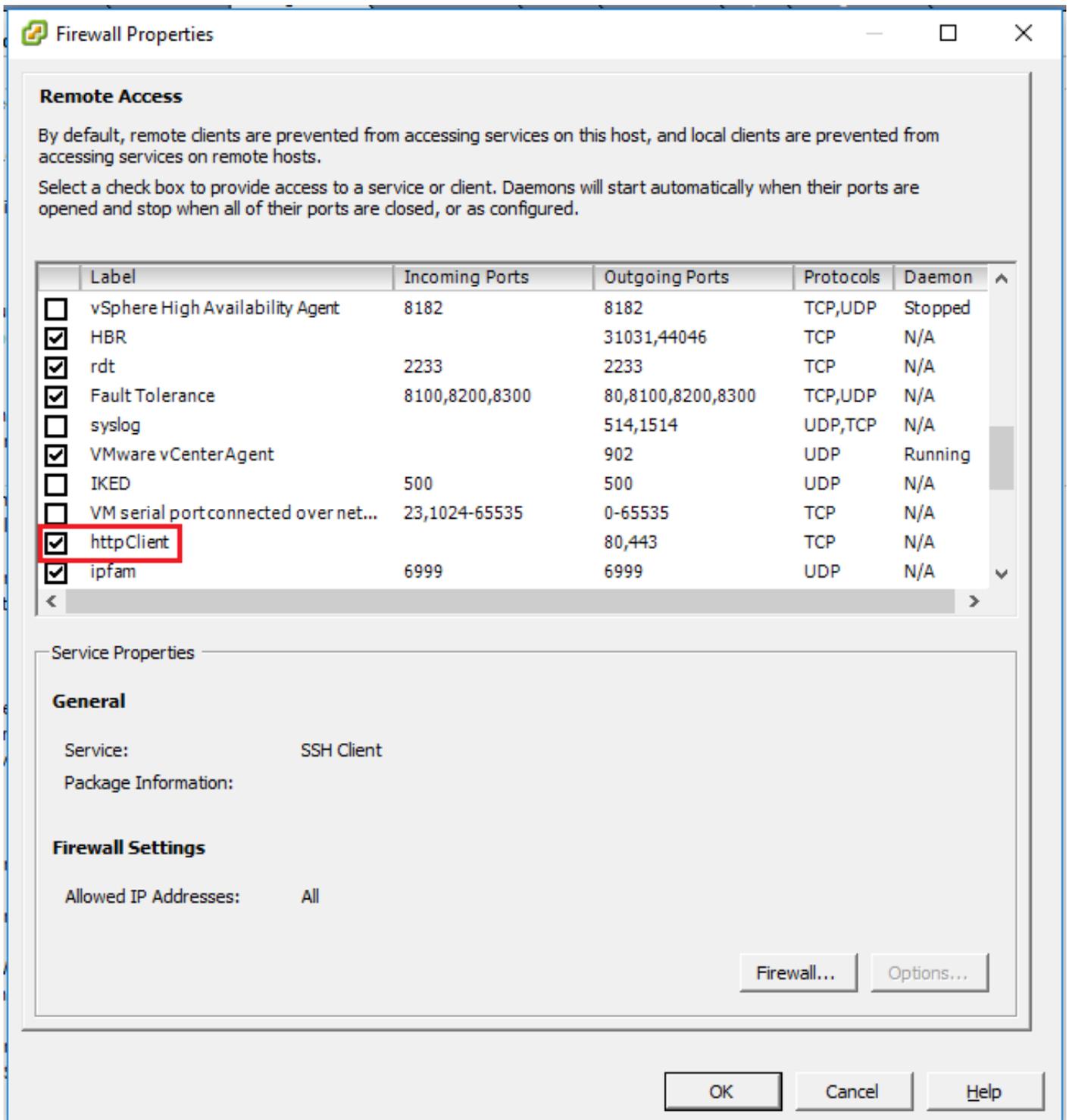
ステップ 3：発信 Hyper Text Transfer Protocol (HTTP) 接続を許可するように ESXi ファイアウォールを変更します。

実際のアップグレードファイルに関する VMware サーバーへのクエリが実行されるため、ESXi サーバーからの HTTP (HTTPS) 発信接続を許可する必要があります。

図に示すように、vSphere Client を使用できます。

The screenshot shows the vSphere Client interface with the 'Configuration' tab selected. The 'Security Profile' section is expanded, and the 'Firewall' section is visible. The 'Security Profile' section includes a list of services and their status. The 'Firewall' section shows a table of incoming connections.

Incoming Connections			
vSphere Client	902,443 (TCP)	All	
omind	12345,23451 (UDP)	All	
DHCP Client	88 (UDP)	All	
DNS Client	53 (UDP)	All	
ipfsm	6969 (UDP)	All	
vsaarp	8080 (TCP)	All	
vMotion	8080 (TCP)	All	
CIM Secure Server	5989 (TCP)	All	
Fault Tolerance	8100,8200,8300 (TCP,UDP)	All	



または、CLI を使用します。その場合は、次のコマンドを実行します。

```
esxcli network firewall ruleset set -e true -r httpClient
```

ステップ 4： 使用可能なアップグレードバージョンに関して VMware サーバーへのクエリを実行します。

使用可能なバージョンを決定するために、アップグレード可能なすべてのバージョンを一覧表示できるようになりました。次のコマンドを実行します。

```
esxcli software sources profile list -d  
https://hostupdate.vmware.com/software/VUM/PRODUCTION/main/vmw-depot-index.xml |  
grep ESXi-6
```

アップグレード可能なすべてのバージョンが一覧表示されます。VMware ツールのアップグレードが不要な場合は、「ツールなし」のバージョンを選択できます。それ以外の場合は、標準アップグレードバージョンを使用できます。

ステップ 5：アップグレードするバージョンを選択し、アップグレードプロセスを開始します。

アップグレードする正確なバージョンを決定したら、次のコマンドでアップグレードプロセスを開始できます。

```
esxcli software profile update -d  
https://hostupdate.vmware.com/software/VUM/PRODUCTION/main/vmw-depot-index.xml -p  
ESXi-6.0.0-20170202001-standard
```

ステップ 6：サーバをリブートします。

アップグレードプロセスが完了したら、新しいバージョンを有効にするためにサーバをリブートする必要があります。次のコマンドを実行します。

```
reboot
```

ステップ 7：メンテナンスモードを終了します。

ESXi ホストがオンラインに戻ったら、すべての VM 動作を再開するためにメンテナンスモードを終了します。

図に示すように、vSphere Client を使用できます。



または、CLI を使用します。その場合は、次のコマンドを実行します。

```
vim-cmd /hostsvc/maintenance_mode_exit
```

確認

ここでは、設定が正常に機能しているかどうかを確認します。

アップグレードが正常に完了したことを確認するには、vSphere Client を使用できます。[ESXi ホスト (ESXi host)] に移動すると、新しいバージョンが上部に表示されます。または、CLI を使用します。その場合は、次のコマンドを実行します。

```
vmware -v
```

トラブルシューティング

現在、この設定に関する特定のトラブルシューティング情報はありません。